

～下記の研究を行います～

『治癒切除不能な進行・再発胃癌に対するパクリタキセル+ラムシルマブ併用療法の好中球減少、発熱性好中球減少症の発症状況の調査』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 治癒切除不能な進行・再発胃癌に対するパクリタキセル+ラムシルマブ併用療法の好中球減少、発熱性好中球減少症の発症状況の調査

【研究責任者】 仲野 宏紀

【研究の目的】 治癒切除不能な進行・再発胃癌に対するパクリタキセル+サイラムザの好中球減少、発熱性好中球減少症の状況について調査します。

【研究の期間】 研究許可日～2017年10月31日

【研究の方法】 当院のみのデータを用いて行う後ろ向き観察研究

●対象となる患者さん

2015年3月1日から2017年10月31日までに当院で胃癌の一次化学療法にプラチナ系製剤+フッ化ピリミジン系製剤併用療法に不応となり、二次治療としてパクリタキセル+サイラムザ併用療法を施行した患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：年齢、性別、一次化学療法のレジメン・コース数、好中球数等の臨床検査値、投与量、パクリタキセル+サイラムザのコース数、発熱性好中球減少症の有無・発生コース数等

②疾患情報：胃癌、既往歴等

【研究の資金源】

特にありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シ-オーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあ

たります。本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 薬剤部 薬剤師 仲野 宏紀